

# ROTARY CLUB OF AMA WEEKLY REPORT.



2023~2024年度  
国際ロータリーテーマ

世界に希望を  
生み出そう



2023-2024年度 RI会長 ゴードン R. マッキナリー  
第2762地区ガバナー 酒井 法丈  
会長 加藤 春視 副会長 高山 敏  
幹事 竹田竜一郎  
例会日 毎週月曜 例会場 名鉄グランドホテル  
【公共イメージ向上委員会】  
委員長 大西 晃弘 副委員長 山田 広明  
委員 池崎 晴美・木下 章吉・武藤 正俊・中西 巧

【事務所】〒453-0015 名古屋市中村区緑町17番16号 丸元ビル TEL.(052)451-6617 FAX.(052)451-6710 e-mail : kk01-ama@eos.ocn.ne.jp

## 2024年 4月 8日(雨) 第1週 第2464回例会

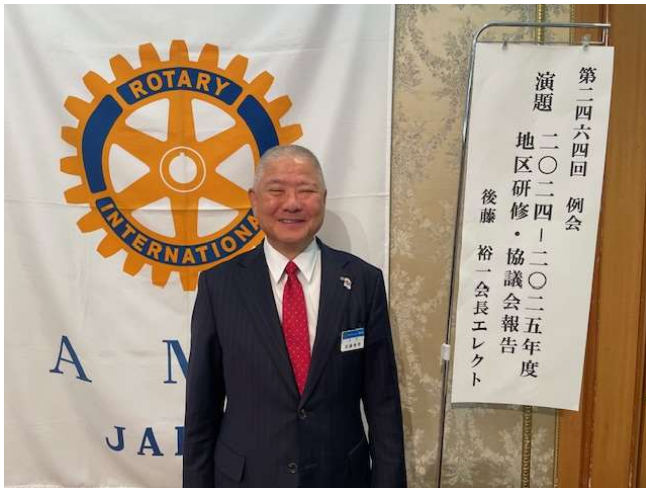
Song ” 日も風も星も ”

### Attendance

会員	65名	欠席	10名	出席率	81. 82%
----	-----	----	-----	-----	---------

### President Time

加藤春視 会長



本日は、2024—25年度 地区研修・協議会報告を後藤裕一会長エレクトにお願い致しました。後ほどよろしくお願ひ致します。

今月4月は「母子と健康月間」です。ロータリーは地域社会が自力で母子の健康を守れるような仕組みづくりを推進している。ロータリーの活動が女性と子どもに健康をもたらしている話です。使わなくなったおむつと、使ってくれるのを待っているおむつの課題がマッチングした話で、高知東RCの西森やよいさんの投稿です。私にも、2人の孫がいますので興味深い話として理解しやすかったです。

「高知おむつバンク」とは、「子どものおむつ離れによって余った未開封の紙おむつを地元のベビーホームに寄付した」というロータリアンの経験から発案されたシステムです。

ある時、自宅のクローゼットにある未開封のおむつがあるのを発見しました。西森さんのお子さんは、おむつは既に卒業していたため、おむつが不要のものとなっていました。それで親交のあった弁護士を通して、ベビーホームへ寄付することになりました。たまたま通りかかったママ友にも「おむつ抱えてどうしたの？」と声を掛けられました。事情を説明すると、「うちにもおむつ余ってる。寄付できるところがあるなら私も持っていこうかな」と言ってくれました。それを聞いて「ああ、これは私だけの問題じゃないな」と感じた。その後、おむつ等の衛生用品がメーカーのユニチャームが協働して、子育ての支援センターにつながっていきました。そして香川県主催の「令和4年度みんな子育て応援団大賞」で香川県知事賞を受賞しました。このように、ロータリーの取り組みをきっかけに生まれた「高知おむつバンク」は、素晴らしい養育者と多くのご支援に恵まれたことですくすくと成長し、さらなる発展のステージへと導かれつつあります。2018年の高知東RC創立50周

### Today

4月13日(第2465回)

担当

家田安啓 創立55周年記念行事実行委員長

演題

創立55周年記念式典・祝宴

於：名鉄グランドホテル 11F

創立55周年記念行事実行委員会

(4/15例会振替)

### Next Week

4月22日(第2466回)

担当

大竹敬一 プログラム委員長

演題

新会員卓話

川島謙一会員、浅野世志雄会員、

黒野謙太郎会員

年記念式典大会テーマは「未来に育む」でした。高知東RCが積み重ねてきた奉仕の理想が、今後も地域に根付いた「おむつバンク」に引き継がれ、さらに多くの方々に育てていただくことを願ってやみません。と綴られていました。この活動を知り、身近なところに困っている人と解決できる人をつなぐと喜んでくれることにつながる。素晴らしい話で感動致しました。以上で会長挨拶と致します。今日は、有難うございます。

今週の13日は、創立55周年記念式典・祝宴を行いますので皆さんご参加よろしくお祈いします。

## Secretary Report 竹田竜一郎 幹事

- 1 次回例会は4月13日（土）創立55周年祈念例会です。4月15日（月）の振替です。

## ニ ヨ ボ ッ ク ス

### ご投函有り難うございます

加藤春視 会長

本日は後藤裕一会長エレクトに2024-25年度地区研修・協議会の発表をよろしくお祈いいたします。

4月13日は創立記念55周年記念行事です。皆さんで楽しみましょう。よろしくお祈いいたします。

竹田竜一郎 幹事

昨日の地区研修・協議会、お疲れ様でした。本日発表の方、よろしくお祈いします。

家田安啓君

いよいよ今週土曜日、創立記念式典及び祝宴です。よろしくお祈いします。

青本道春君

春が来た来た桜が満開。今年も桜が楽しめた事に感謝感謝。

大竹敬一君

55実行委、無断欠席。今日のリハーサル、通告欠席。谷川君、家田君、皆さん、ごめんなさい。

後藤裕一君

昨日の地区研修・協議会出席の皆様、お疲れ様でした。また本日発表される皆様、よろしくお祈いします。

服部竜也君

春が来た来た桜が満開。今年も桜が楽しめた事に感謝

感謝。

池崎晴美君

4月6・7日の2日間、びわこ100kmウルトラウォーキングに参加しました。桜満開でした。26時間34分でゴールしました。次はサバンナマラソン230km、頑張ります。

神野恭寿君

後藤裕一年度役員・理事の皆様、昨日の地区研修・協議会お疲れ様でした。本日の発表、よろしくお祈いいたします

児玉憲之君

やっと桜が満開となりました。今日の雨で散らないといいのですが。

栗木和夫君

1か月間の禁酒後、体重がゴルフスコアと同様UP。悲しくなりました。

黒川元則君

横井君、大治芋掘り、孫たちが楽しみにしています。よろしくお祈いします。7名申し込みました。

小倉廣三君

地区研修・協議会報告、担当者の方、発表よろしくお祈いします。

黒野晃太郎君

地区研修・協議会出席の皆様、お世話になりました。

酒井和雄君

先日卓話の中で、古川君の会社PRの中の「どて焼」大変美味しかったです。有難う。

武井 正君

昨日は地区研修・協議会を欠席してしまいました。申し訳ありません。加藤徹地区職業奉仕副委員長、発表よろしくお祈いいたします

横井久雄君

春が来た来た桜が満開。今年も桜が楽しめた事に感謝感謝。

合 計 32,000円

第1分科会 後藤裕一君



地区方針「魅力あるクラブ  
持続可能な奉仕活動 成長  
するロータリー～行動計画  
4つの優先事項にそって戦略  
計画を～」吉川公章ガバナー  
エレクトの点鐘で始まり実行

委員長、ホストクラブ会長、酒井典丈ガバナーの挨拶、そして吉川ガバナーエレクトの所信表明があり、その中でステファニー・アーチックRI会長の2024～25年度RIのテーマ「ロータリーのマジック」の発表とテーマとしての中期行動計画を作成し、その計画に基づいて活動を進める法顔性が紹介され、そのテーマに沿って地区方針「魅力あるクラブ 持続可能な奉仕活動 成長するロータリー」の説明がありました。そして特別講演として服部陽子RIラーニング・ファシリテーター2023RI第2750地区パストガバナーによる「DEIからクラブ活性化へ」と題した基調講演がありました。会員増強のために従来の増強活動以外にDEI多様性・公平さ・インクルージョンを土台として新しい形態のクラブを作ることによって会員増強につながるという時代に即した増強活動の話がされました。その後、第1分科会から第9分科会に分かれてそれぞれのテーマの研修が行われました。

第1分科会ではMy Rotaryクラブセントラルの目標登録方法の説明、ロータリーフードフェスティバル（RFF）についてWFFからRFFに名称変更した理由参加依頼の話、ロータリーの危機管理に関する話においては、様々なハラスメントが判明してから72時間以内にRIに報告すること、ハラスメントで会員が有罪となった場合、当該会員を除名すること。それらをおこたったクラブは、RIより認証を取り消される旨の話。昨今続いている防災に関して地区防災対策委員会のテーマに関する話。最後に会員増強について世界と日本そして2760地区における女性会員比率の比較で圧倒的に当地区は少ない、ロータリーのテーマとしての「DEI」を訴求して若年層・女性会員あるいは新しいタイプのクラブを作って会員増強を図るべきとの話がありました。それぞれの研修で学んだことに取り組んで参りたいと考えています。

第2分科会 山田朝子君



地区研修・協議会の第2分科会に出席いたしましたので、ご報告いたします。

まず照井栞次期地区ラーニング委員長ファシリテーターから、司会のプロの立場として、例会を円滑に進行する工夫につきお話しいただきました。具体的には、①敬語など使い慣れない言葉は、かまないように工夫する（なんでも「お」「ご」を付けることをやめるなど）、②身内は「様」ではなく「さん」「くん」に統一する、③音読して練習する（かみやすい言葉に気付くため）、④息継ぎをする箇所に印をつける、⑤段取りと気配りを大切にする、とのことでした。

次に、古田嘉且前研修実行委員長ファシリテーターから、例会のあり方について詳細に、特にコロナ禍以降、例会出席がおざなりになっており、ロータリーの魅力が失われつつあると危惧しているとお話がありました。会員が胸襟を開いて親睦を図るのは飲み会ではなく、ロータリー活動の原点である例会であり、例会プログラムのマンネリ化を防ぎ、クラブ運営の充実を図ることが必要であるとのことでした。会員増強の観点からも、例会が楽しくなければ新会員も加入しないとお話をいただきました。

甲府ロータリークラブの高野孫左衛門2620地区パストガバナーからは、ロータリーの友委員会委員長を務められていることから、同誌が縦組み（国内情報）と横組み（国際ロータリー発信情報）に分かれていることや、様々な媒体で情報発信を行っていることなどをお話しいただきました。また、「なぜロータリーに入ったか」「望まれるクラブでの体験は何か」といった会員からのアンケート結果に基づき、誰もが誘われたから加入しているけれど、例会に出席することで、自己成長の機会を求め切磋琢磨する会員と信頼できる人間関係を築き、意義ある奉仕活動により平和を推進していくことで会員であり続けたいと考えているとお話しいただきました。

今回の貴重なお話を活用して、会場運営を実施していきたいと考えます。

### 第3分科会 竹田竜一郎君



公共イメージ向上とは、英語でEnhance public imageです。エンハンスとは、認知度（awareness）と言葉に大きな違いはないが、より積極的に広めるといふ意味がある

という事で、積極的にイメージを外部に伝えていく委員会です。公共イメージとは、「見聞きした瞬間、頭に浮かぶ独自（特別）のイメージ」であり、それは、差別化ではなく、独自性であり、外部者（アウトター）が感じる事、決める事です。それにはブランディングが大切です。企業と同じでブランディングを構築して行く事が必要です。その他、皆様をお願いしたい事として、

1. ロゴが変更されているので対応してください。（案内の用紙やジャンパー、帽子などを含みます）
2. SNSや地区アプリを見て活用してください。
3. マイロータリーの登録をしてください。地区で60%以上目標。現在52.9%、あまRC51.56%
4. ロータリーの友を読んでください。

自分達の活動を世界中にアピールでき、他クラブがどんな状況かも良くわかる。実は10年前からウェブ化しており、アーカイブがあります。メンバーならば昭和24年からの全てが閲覧出来るようになっています。半期に一度、パスワードとIDが変更され、事務局に送られているという事です。検索ワードを入れれば関連した記事が出て来ますので参考にし、活用してください。

### 第4分科会 服部竜也君



地区内、各クラブが持つ国際奉仕活動を推進させるためのリソース情報を蓄積、水の衛星事業として井戸掘り、給水塔の設置等、そして、緑化事業として植樹をしてきました。

そこで、昨年度アンケート調査し、実績、意識、人材、米山奨学生終了者の協力者等の実態を把握。各クラブへの状況提供に役立てます。また、日本国内の外国人を取り巻く問題へのアプローチとして、その子供たちの学力、非行、犯罪とうにどのようにできるか考えてみたいとのことでし

た

### 第5分科会 加藤 徹君



社会奉仕委員会と職業奉仕委員会の合同分科会でしたが担当した職業奉仕委員会について報告します。

今年度は

- ・ロータリアンは「I Serve」

が基本である、「四つのテストに照らし合わせた会社案内」を通して仲間の会社のビジネスを理解しよう。そして、社是・社訓・経営理念・経営方針 を四つのテストに照らし合わせて考えてみよう、という活動をしてきました。

そして次年度、各クラブの職業奉仕委員会の以下の活動

- ・四つのテストを意識したクラブメンバーの会社案内
- ・四つのテストを意識して経営されているクラブメンバーの「会社訪問」
- ・各クラブの職業奉仕委員長が1月の職業奉仕強化月間で卓話をして頂く

この3つの活動を支援するため、10月23日に刈谷産業振興センターで開催される委員長会議までに、3種類の事例報告や卓話用のPowerPointテンプレートを作成し、説明させていただきます。

### 第6分科会 大西晃弘君



第6分科会は「ロータリー財団を学ぼう」というテーマで研修が行われました。

研修リーダーの挨拶に続き

- ①ポリオプラス・職業研修チームについて②グローバル奨

学生・平和フェローについて③補助金について④資金推進について⑤ロータリーカードについて⑥資金管理について、と限られた時間の中で多くのテーマがあったため、それぞれの仕組みや役割といった基本的な内容で進められました。これらの中で、地区の方針として次年度は11月のロータリー財団月間に各クラブの委員長が自クラブで卓話を行ってほしい、そのための研修を地区財団委員会が実施すること。各クラブの3年前の年次基金寄付額をもとに計算される地区補助金の積極的な活用。次年度の各クラブの寄付金など

の目標値。利用金額に合わせてポリオプラスへの寄付が行われるダイナズのクラブカードの積極導入などが特に強調されていました。ちなみに次年度の地区補助金事業はあまRCを含め約60クラブから申請があったことや、2024年3月末までの一人あたりの年次基金寄付額はあまRCが地区全体で5位であることなどが資料として配られ、あまRCの財団への貢献度の高さを改めて実感いたしました。財団の活動にあまり詳しくない私にも理解しやすい基本的内容を駆け足で進める研修でしたが、配布資料の各項目にQRコードが印刷されており、そこからさらに深く学ぶことができるといった配慮もされており、大変有意義な時間となりました。

### 第7分科会 加藤文彦君



テーマ：「日本の未来のために青少年と共に進もう」

10時45分にロビー集合し、各分科会会場・昼食会場の指定場所案内標記があったので、それぞれ分散して各部屋に…八百彦のお弁当を食しました。とても美味しかったのですが一人ぼっちで机もなく、膝の上で弁当とは正直微妙でした。コロナ以前なら立食ビュッフェスタイルで懇親を深めながらの楽しい時間だったと記憶していますが、これも致し方ないのでしょうか？その後、いったん事前の準備があるのでと全員部屋から追い出されました。開会まで小一時間、大西君、石原君と合流しロビーでお茶しました。なんと1杯1,600円の高級コーヒー。大西君ご馳走様でした。味はたいへん美味しかったです。その後、12:30点鐘により本会議場へ移動、皆さんと合流しました。内容は割愛します。特別講演の講師が終了予定時間を超えても長々とお話し、時間厳守は徹底しなければなんと反面教師。

第7分科会～青少年奉仕、インターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交換、学友会の各委員長の挨拶と、それぞれの内容説明を順番に説明。各活動のスライド上映、その後はRYLA、青少年交換留学経験者の発表がありました。

7月から始まる次年度「青少年奉仕委員長の責務」。このままではいけないと、自ら率先して青少年奉仕、RYLA等の情報を掴みに行かなければいけないと感じました。

### 第8分科会 黒野晃太郎君



奨学生選考

- ・全国 863名
- ・2760地区 51名（申請者の3割）

米山記念奨学会の仕事

- ・寄付金を増やす
- ・奨学生を増やす
- ・学友会の充実

寄付金

- ・14億2千万円（全国）
- ・1億6千万円（2760地区）全国1位
- ・普通寄付金 全国4位
- ・特別寄付金 全国1位

### 第9分科会 山本裕二君



参加者：318名

講師：

1. 鈴木拓将氏『私にとってのロータリー』
2. 籠橋美久氏『ロータリーの組織と目的』
3. 神野重行氏『真のロータリアンを目指して』

1. 鈴木氏

新しく創設された名古屋宮の社RCで経験者は5名だけだったので、最初はみんなロータリーについて学びながらのスタート。そんな中で、地区の事業に参加すると、クラブにはない様々なことが見えるようになった。例会ではなかなか話す時間がないので、趣味の会、飲み会に参加すると違う形で友達ができる。印象的だったのは、ロータリーの常識は世の中の常識であるべきだから、意見を言うときには主語を「ロータリーは」から「世の中は」に変えようというお話でした。

2. 籠橋氏

ロータリーの目的は、一言で言えば「平和」。そして今私たちは幸福で、援助する側にいるのだから、幸せのおすそ分け＝(人道的)奉仕活動を世界に、社会に対して。ビジョン、目的、四つのテスト、奉仕の理念。ロータリー3本の柱（クラブ、国際ロータリー、ロータリー財団）。ロータリー基本方針、組織、中核的価値観について詳細な説明があ

った。一番印象に残ったのは、「ロータリーのエッセンス」についてで、・リーダーのネットワーク（世界のさまざまな国や職業リーダー）・アイデアを広げる（多様な会員）・行動する（思うだけじゃだめ）という点でした。

### 3. 神野氏

最初に「ロータリークラブへの入会した感想は？」という質問をされ、「まだよくわからない」が大半だったことに対して、すぐ好きにならなくても構わないというアドバイス。「真のロータリアンを目指して」さまざまな見地でお話をされた中で、最も印象に残ったことは、「ロータリーは目的の推進、達成を目指す人の集まりであり、その親睦はFriendshipではなく、志を共にする仲間=Fellowshipでなければならない。そのために毎週の例会で気の合う仲間を作り、それを増やしていくことが大事」という点でした。



### 「人としての成長を実感」奨学期間を振り返る

卒業シーズンとなる3月、多くの米山奨学生が奨学期間を終了し、新たな一歩を踏み出すこととなります。今回は、ベトナム出身のグエンティ ハインさん（2022-24／横浜泉RC）に、米山奨学生として過ごした2年間を振り返っていただきました。

〈ハインさんより〉

米山奨学生に合格した時は、とにかく大喜びしました。待ちに待った合格通知を受け取った瞬間は、今でも覚えています。それまでの努力や挑戦が報われたことを実感すると同時に、その恩返しをしっかりと果たさなければならない、という責任も感じていました。初めてクラブの方々に出会った時は、ただ私を歓迎するだけでなく、将来のためにサポートしたい、という姿勢を強く感じ、心を打たれました。例会のたびにいただいた温かい言葉や応援のメッセージは、異国の地で過ごす私にとって、大きな励みになりました。世話クラブでの2年間を通じて学んだ人間性、社会貢献に対する価値観や、真のリーダーシップは他者のために尽くすことにある、という考え方は、まだ学生の私にとって、学外での貴重な学びとなりました。多くのアドバイスやご指導を受け、自分が人として成長できている、という実感を得ることができました。

4月から新たに米山奨学生となる方々にぜひ実践してほしいことは、クラブ会員の皆さんのお名前とお仕事をいち早く覚えることです。そうすれば、いろんなテーマで会話が弾みます。実際に私も名簿をいただき、一生懸命覚えめました。母国について興味を持ってくださるので、母国に関する知識を深めておくことも大切です。



ハインさんとカウンセラーの鈴木崇弘氏

ハイライトよねやま Vol.288より